

ゆずの里 勝仙閣社長

藤崎 信吾 さん

なかごめますみの 笑顔のリレー



なかごめますみ ぶらむニュース編集長 著書に『下町デザイン』がある。(株)青梅不動産社長

声が大きいい。姿勢がいい。頭の回転が速い。いつも、時代の先を読んで素早く動く、まさにチャレンジャーである。高校時代は柔道を、大学時代は重量挙げに励む猛者だったのだとか。いきおい、よからぬ宿泊客を退散させたこともあるらしい。「お客様の安全を守ることは私の使命です」と旅館の主らしく穏やかに微笑んだ。

ほとバスと深いつながり

ますみ 『勝仙閣』誕生のいきさつを教えてください。

藤崎 昭和23年(1948年)、日本観光が『ほとバス』を創設するにあたり、当時、廃業旅館だった勝仙閣を取得し、『日本観光旅館』として営業を始めたものです。日本観光の創始者、山本達男は妻、恵子の叔父にあたります。

ますみ 東京観光のあの、あとバス？

藤崎 そうです。創業から2年後、義父は別会社を設立、この地に移り住み、名称をかつての『勝仙閣』として、新しく旅館業を始めたのです。ところが、私たちの結婚後すぐに、義父が病に倒れ、私は当時、大



対談中の藤崎さんとますみ編集長

日本インキの社員でしたが、勤務していた名古屋から毎週末、一年間沢井に通いました。

ますみ それは大変でしたね。

藤崎 会社を辞めて仕事を受け継いだの

ていない。ごめんなさい(笑)。

藤崎 まだ、全室ではありませんが。

ますみ さすが素早いですね、動きが。でも、うれしいです。

藤崎 それはよかった(笑)。

作品には芸術家の品性が表れる

ますみ 何か芸術に携わっていらつしやるのですか？

藤崎 いや、自分では何も。

ますみ でも、色々な分野の芸術家と親しくなさっているようですが。

藤崎 きつかけのひとつに、日本画家・川合玉堂先生の次男、川合修二さんや日本画家・宇佐美紅中さん、漆芸家・並木恒延さんと親交があったことがあるかも知れないですね。そのご縁からたくさんの方と芸術家と出会い、本物の芸術をたくさん見せていただきました。

ますみ それでは、芸術を見る目は鍛え抜かれていますね。

藤崎 言えることは、芸術には作者の人格とか品性が出るということです。品格のいい作品が好きですね。



ゆずの里 勝仙閣の一部屋

は昭和44年、私が30歳のときです。ますみ 慣れない土地での慣れない仕事、ご苦労なさいましたね。

時代にあった改革、実行

藤崎 無我夢中でしたよ。自分で包丁を握ったりもしてみましたが、そのうち、それでは駄目だ、もっと大きな視点から改革を図らなければと思うようになり切り替えました。

ますみ どんな風に？

藤崎 調べてみると、案外知られていませんでしたが、この地、沢井は柚子で有名な村です。中里介山の大菩薩峠のなかに『柚子のよく実る沢井という村』という記事がありますが、その柚子を活かした料理を創れないものかと考えたのです。

ますみ それまでは、どんな料理を？

藤崎 山菜川魚が中心でした。研究を重ね、柚子を貯蔵する技術を得ることができ、年間を通して、ゆず尽くし懐石料理をお出しできるようにしたのです。

ますみ 料理の脇役的存在だった柚子が主役に、大抜擢ですね(笑)。

ますみ 品性の高い作者から、品格の高い作品が生まれる、ですか。

藤崎 そのとおりです。

世界中から人が集まる観光地

ますみ これからの抱負は？

藤崎 多くの人にこの地のよさを知っていただき、世界中から観光客が来て欲しいですね。

ますみ 世界中！ 大きいですね。

藤崎 そのためには、奥多摩、青梅が本当の意味での観光地にならないと。観光の本質は訪れた人に、心の安らぎ感を持つていただくことだと思います。そのためには食べるところ、遊ぶところ、休憩するところの充実は当然ですが、もっと、新しいことも考えないと。

ますみ 例えば？

藤崎 芸術、文化の街づくりをするとか、JRとより提携をし、シャトルバスを運行させるなどして、青梅、奥多摩間を自由に乗り降りできるようにし、観光客の流れを作る工夫が必要だと思います。

ますみ 確かに現状は、たとえば御岳駅で下車した観光客は青梅駅には立ち寄りたがらないで帰ってしまっていますね。

藤崎 各地に訪れている観光客をその場所だけで帰してしまうのはもったいないことです。観光客の流れを作らないと。

ますみ 点と点を結ぶのですか。

藤崎 自治体や地域の皆さんと力を合わせて地域の活性化にとりかかりたいですね。

仲良きことは美しきかな

ますみ ロビーが素敵にコーディネートさ

藤崎信吾さんプロフィール
昭和13年 横浜市に生まれる
昭和32年 早稲田高等学院 卒業
昭和36年 早稲田大学第一商学部 卒業
昭和36年 大日本インキ科学工業(株)入社
昭和44年 大日本インキ化学工業(株)退社
昭和44年 ゆずの里勝仙閣 経営参加
現在へ至る



ゆずの里 勝仙閣 TEL:0428-78-8221 青梅市沢井3-484

藤崎 時代に合わせて改革は常に必要ですね。

ますみ 昨年の紅葉の頃、勝仙閣さんに一泊させていただきましたが、多摩川を見ながらのゆず懐石にゆず酒、すっかりゆつたりさせていただきました。

藤崎 そうだ、ぜひ、トイレを使ってくださいね。

ますみ ？？

藤崎 アンケートに『トイレはウオッシュレットの方がいい』と書いてあったので、すぐに替えましたよ。

ますみ えっ、そんなことを私が？ 覚えていたが、あれは奥様が？

藤崎 はい。でも、私は以前、どちらかというと、女性は仕事にあまり、口を出すなという考えだったので。

ますみ それはまた、古いタイプの男性でしたこと(笑)。いつから変わったのですか？

藤崎 10年前、妻が大病をしました。その時、女性の存在の大きさを知らされました。旅館にはやはり、女将が必要ですね。

ますみ それはそうですよ。

藤崎 女性のいいところを認め、誉めないと、と思っています。

ますみ すばらしい進歩ですね(笑)。

藤崎 女将さん、ますますお元気に、若々しくなられることと思います。

藤崎 いやいや、そんな。心がけているということ。それも、ごく最近。

ますみ あら、まだ古い男性の名残が？

藤崎 いやあ、弱りましたね(笑)。

ますみ 休日の楽しみは？

藤崎 よく、車で出かけます。

ますみ 奥様と？

藤崎 はい。よその土地に出かけると、いろいろ新しい発見がありますし、心がリフレッシュされますし。

ますみ 仲がいいのですか。

藤崎 そう、・・・ですね(笑)。

ますみ いつまでも、ご夫婦仲良くお元気で活躍ください



ゆず懐石料理

次回のお客様は 未定です。

働くママを応援します!
ヤクルトなら保育所完備で安心して働けます
ベテランの保育士を中心に、常時2名でお子様を見守っていますので、安心して働けます。
お申し込みは以下のフリーダイヤルへ必ず「ぶらむニュースを見た」とお伝えください。
0120-8960-21

T&D 大同生命
変わらぬ安心と、確かな信頼のために。
Daijido 大同生命
多摩支社 西多摩営業所/青梅市河辺町10-6-1(トミタワ-2F) TEL 0428-23-4428

現地案内図
モデルルーム案内
河辺駅北口にてモデルルーム公開中!!

次世代型 オール電化マンション誕生!
アイディコート東青梅
3LDK(70.13m2) 2,480万円より

アイディコート東青梅
「河辺」駅徒歩11分
「東青梅」駅徒歩7分
Switch!
電気と、ちょっといい毎日。
お問い合わせ 0120-303-638